

(様式3号)

農業主導型6次産業化支援整備事業点検評価書(平成22年度分)

地方農政局等名
農林水産省経営局

6次産業化法人の名称	設立年月日	代表者名	構成員数
有限会社 藤井牧場	平成22年2月1日	代表取締役社長 藤井 雄一郎	4名
主たる事務所の住所	北海道富良野市八幡丘	TEL FAX	セキュリティに配慮し、 非公開といたします。

1 事業の実施状況に対する所見

[取組状況について]

平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより、試験稼働を行うのみにとどまった。平成23年度から本格的に稼働している。

[経営状況、事業による変化等について]

施設稼働が平成22年度中に間に合わなかったため、本事業による変化はみられないが、既存事業の販売増加等により、売上高は増加している。また、雇用人数も8人となり、計画通りの増加となった。

2 成果目標の達成状況に対する所見

項目	所見
(所得の向上に関する目標) 売上高について	農畜産物提供施設の開業が平成23年度に繰り越したため、平成22年度の売上高に当事業分は反映されていないが、既存事業の売上高が増加したため、平成22年度の目標を達成した。
(雇用の創出に関する目標) 雇用者の増加	1名の新規雇用を行い、平成22年度の目標を達成している。
(地域の活性化に関する目標) [新規工房の立ち上げ]	平成22年度は増加目標を0戸としている。現在、平成23年度の目標達成に向けて、乳製品製造に興味を持つメンバーを中心とした勉強会を随時実施している。

3 施設等の利用状況についての所見

[農畜産物加工施設の利用状況について]

平成22年度は、東日本大震災に起因する資材入手難による工事の遅れにより完成が間に合わなかったため、利用実績はない。

4 6次産業化法人と連携法人の取引状況についての所見

--

5 改善措置等に対する所見及び指導内容

(1) 成果目標について

平成22年度の成果目標を達成している。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。

(2) 施設等の利用状況について

平成23年4月の本格稼働以降、順調に稼働しており、平成23年度は目標を達成できる見込みである。引き続き、目標達成に向けた取組を推進する必要がある。